

AIRMANの提案

コンプレッサによる工場内の

「省エネ」

コンプレッサの消費電力は、
工場全体の20～30%相当と言われています。

コンプレッサによる省エネが実現できれば、

工場全体に大きな影響を与え、

カーボンニュートラルにも大きく貢献します。

そこで

工場内の事例を挙げて
コンプレッサによる省エネの提案



をご紹介します。

カーボン
ニュートラル
に向けて

温室効果ガスの削減が叫ばれている昨今、
「何をやらなければならないのか」、「何をやらなければいけないのか」が分からない。
そんな時、**まずは省エネから始めてみる**はどうでしょうか？
また、国際イニシアチブとして、「**SBT認証**」が広がっています。
日本国内でも多くの企業が認証を取得しており、**カーボンニュートラル
に向けた省エネ提案は今後のマスト**になることが考えられます。

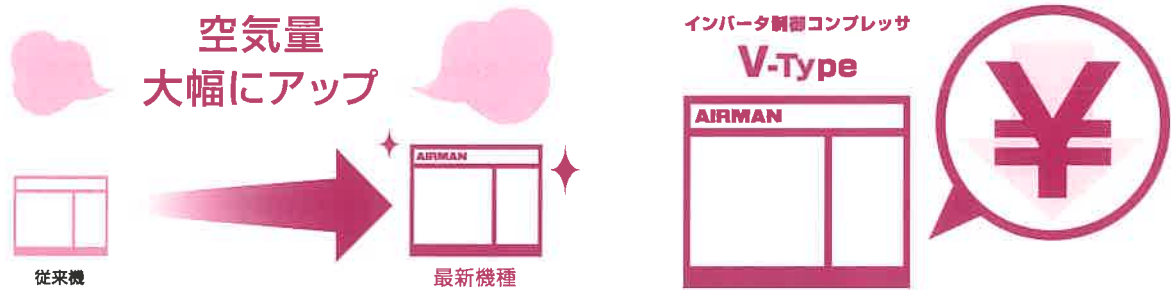
設備の増設・更新によって

コンプレッサが休みなく動いている

そこで

機種の見直しで解決

基本性能を大幅にアップした最新機種やインバータ機の導入



設備を増設したのに旧型のコンプレッサをそのまま使用していると、高負荷状態の運転が長時間続き、経済的ではありません。また、適切な空気量を供給できなくなる場合もございます。そこで、AIRMANの最新コンプレッサをご提案します。高効率ASロータ[※]を搭載し、基本性能を大幅にアップすることで**クラス最大級の空気量**や、**様々な省エネ機能を搭載**しています。さらに、インバータ機であれば、設備の消費空気量に応じてモータの回転速度を調整するので、**優れた省エネ効果を発揮**します。

※モータ公称出力15～75kWの機種に搭載

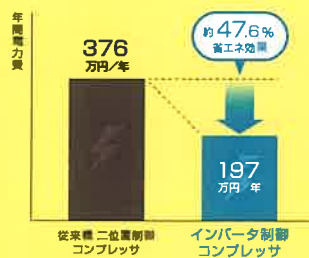
省エネ効果は

年間電力費

179万円
省エネ効果

比較
SAS37の
年間電力費(消費空気量比50%)
当社従来機二位置制御と
インバータ制御で比較

条件
電力料金:18円/kWh、
稼働時間:8,000時間/年、
50%の空気量で稼働した場合で算出

年間CO₂排出量

45トン
CO₂削減

比較
SAS37の
年間CO₂排出量(消費空気量比50%)
当社従来機二位置制御と
インバータ制御で比較

条件
電力料金:18円/kWh、
稼働時間:8,000時間/年、
50%の空気量で稼働、
CO₂排出係数0.465kg-CO₂/kWh
(2021年の電力会社B社の平均値)で算出

